

# I 令和3年度の重点政策

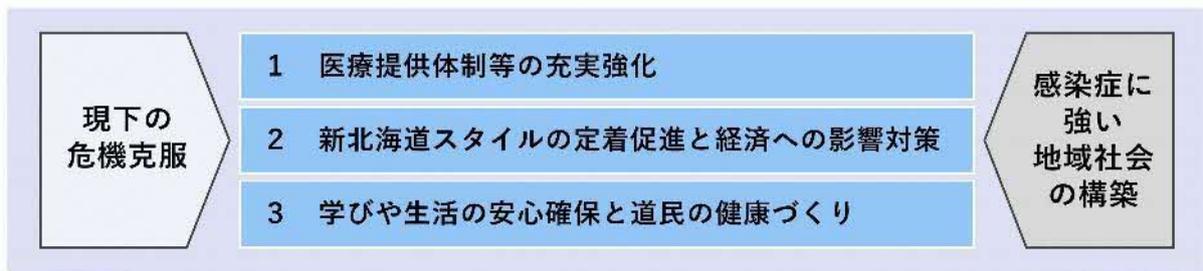
## 1 「命と暮らしを守り、未来を切り拓く」予算

### 基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、「道民の命と暮らしを守る」ため、感染症への対応に最優先で取り組み、コロナ禍においても、誰もが将来に希望をもって安心して暮らしていける地域社会の構築につなげていく。

その上で、コロナ禍において顕在化した都市一極集中への懸念やサプライチェーンの再編、さらには、デジタル化や脱炭素化など、情勢変化や社会変革の兆しを的確に捉え、「ピンチをチャンスに」「ハンディを強みに」「強みを成長エンジンに」という視点から、ポストコロナを見据えた本道の新たな未来を切り拓くための起点となる取組を推進する。

### I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築 最優先で取り組む3つの政策



### II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり 3つの視点と9つの政策

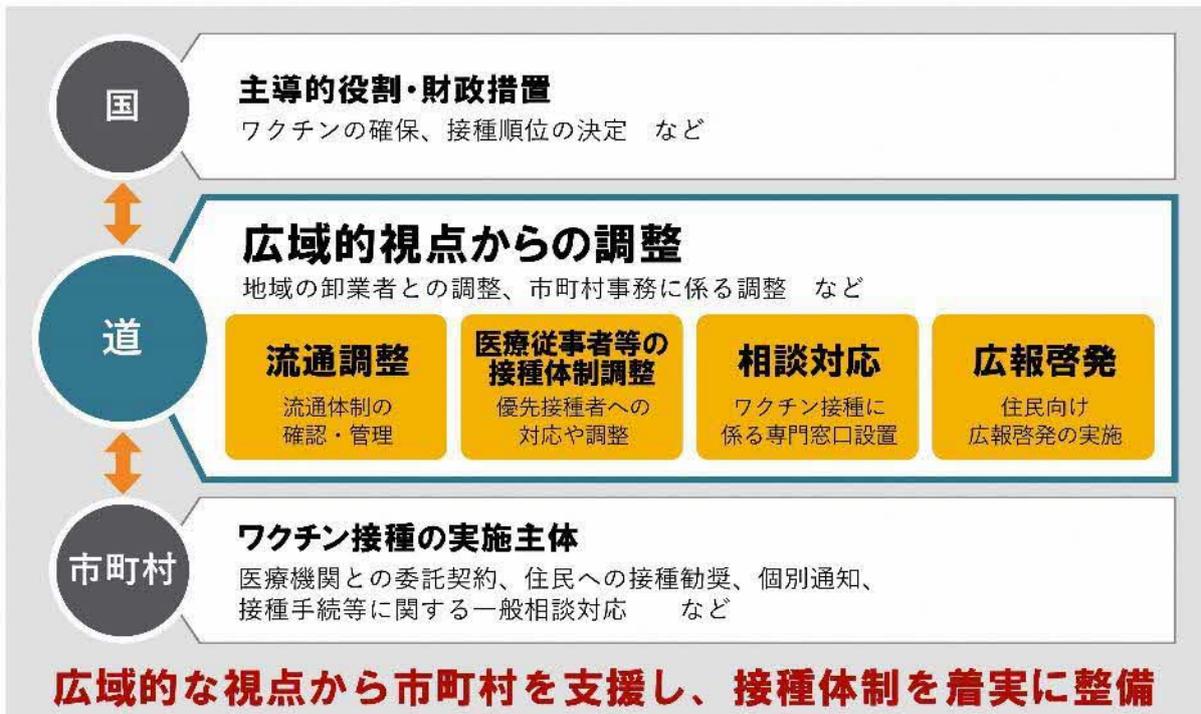


I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

I-1 医療提供体制等の充実強化



ワクチン接種体制の整備



## I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

## I-2 新北海道スタイルの定着促進と経済への影響対策

## 新北海道スタイルの定着促進

- ・新北海道スタイル実践店舗等の可視化
- ・学校や道立施設等での徹底した感染拡大防止対策
- ・行動変容を促す広報・PR



## 経済への影響対策

## 事業継続支援

## 融資等による資金繰り支援

- ・日本金融公庫の資本性劣後ローンとの協調融資制度創設
- ・無利子・無担保融資の上限額引上げ  
(R3.3月末まで保証申込・5月末まで融資実行)

## 感染防止・事業継続に取り組む事業者への支援

- ・時短・外出自粛等により影響を受けた事業者への支援
- ・時短要請に備えた協力支援金の確保
- ・商店街等が実施する感染防止対策・販売促進を支援
- ・企業等におけるテレワークの導入支援
- ・文化芸術活動の再開・継続等の支援

## 事業再生・承継支援

- ・全道6圏域にコーディネーターを配置
- ・「北のふるさと事業承継支援ファンド」による支援  
(投資上限3千万円)

## 就業機会の確保

## 離職者等への支援

- ・非正規雇用労働者・学卒未就職者等の就職促進
- ・ジョブカフェのカウンセリング体制強化

## 人手不足業種への労働移動の促進

- ・異業種からの転職者を雇用した企業、転職者双方へ奨励金を支給

## 企業への就業受入支援

- ・アドバイザーの派遣やセミナーの開催
- ・海外からの人材受入に伴う待機費用の助成

## 感染防止・事業継続に取り組む事業者への支援

## 事業継続への懸念

- ・消費の落ち込みによる売上げ減少
- ・感染防止対策による新たな経費の発生
- ・テレワーク導入の資金やノウハウの不足

## 時短・外出自粛等により影響を受けた事業者支援

時短・外出自粛等の影響により、売上が減少した事業者に対し一時金を支給

法人：20万円 個人事業者等：10万円

## 商店街等の販売促進支援

商店街等が実施する巣ごもり需要等に対応した販売促進を支援

補助率 3/4 上限100万円

## テレワークの新規導入・実施を支援

- ・システム等の導入
- ・雇用管理改善のための研修やコンサルティング

**国** 補助率30% / 上限100万円  
(※一定の目標を達成した場合35%加算)

上乗せ

**道** 補助率20% / 上限65万円

## 新北海道スタイルに対応したビジネス継続をサポート

I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

I-3 学びや生活の安心確保と道民の健康づくり

<p><b>学び</b> 「学びをとめない」環境の整備</p> <p>■ <b>学びの保障と心のケア</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・奨学給付金の支給</li><li>・学習指導員等の配置</li><li>・スクールカウンセラー等による心のケア</li></ul> 	<p><b>生活</b> 暮らしの安全・安心の確保</p> <p>■ <b>「生活」を守る</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生活基盤が脆弱な方々へのセーフティネット(生活福祉資金・ひとり親家庭への給付金の支給)</li></ul> <p>■ <b>「命」と「こころ」を守る</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・差別や偏見、誹謗中傷など人権侵害の防止</li><li>・DVや性暴力、児童虐待などへの対応強化</li></ul> 
<p><b>健康</b> 感染症の重症化リスクの低減にもつながる道民の健康づくり</p> <p>■ <b>生涯を通じた健康づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生活習慣の改善などを推進</li></ul> <p>■ <b>高齢者や子どもの活動促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自宅のできる介護予防の推進</li><li>・子どもの望ましい生活習慣や体力向上支援</li></ul> 	

暮らしの安全・安心の確保

▶ **生活福祉資金の貸付（特例延長及び再貸付）**

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少等により生活に困窮している世帯を対象に生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金)の特例貸付及び総合支援資金の再貸付を実施

令和2年4月貸付開始（緊急対策第1～3弾）

12月末現在  
計 53,807件（約154億円）の貸付を実施

**申請受付期限の延長及び再貸付を実施**

（申請受付期限：令和3年3月末）

▶ **ひとり親家庭への給付金（再支給）**

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯を支援

令和2年8月支給開始（緊急対策第4弾）

12月末現在  
計 9,751件（約6億円）を支給

**基本給付を受給された方々に再支給を実施**

（申請受付期限：令和3年2月末）

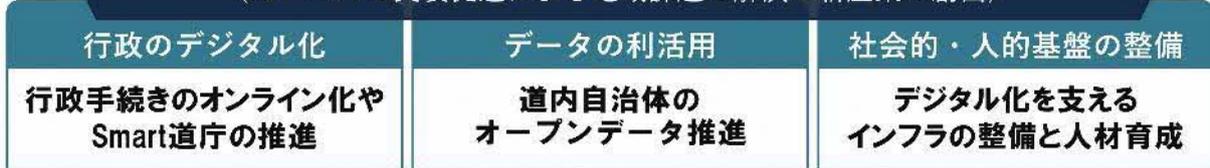
II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-1 デジタル化の推進による「北海道Society5.0」の実現



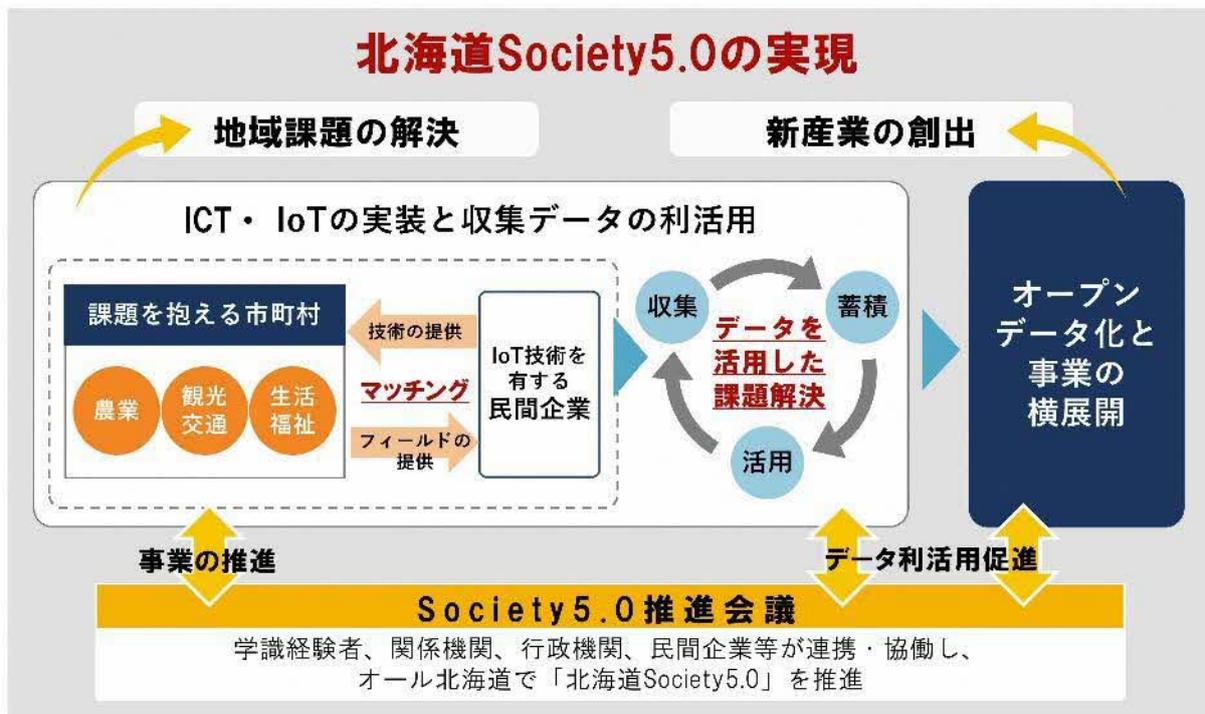
オール北海道による「Society5.0」の実現

(ICT・IoTの実装促進による地域課題の解決と新産業の創出)



デジタル化で「広域分散」「距離」のハンディを強みに転換

地域におけるICT・IoTの実装促進



II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-2 多様な主体との連携・協働による企業や人材の誘致



北 エールを北のチカラに。

ほっかいどう応援団会議のネットワークの活用



北海道型ワーケーションの推進



II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-3 本道の特徴を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦

北海道地球温暖化対策推進計画

北海道省エネルギー・新エネルギー  
促進行動計画

一体的に推進

脱炭素モデルの創出・普及

道民一人あたりのCO2  
排出量が全国の約1.3倍

- 地域の脱炭素モデルの可視化
- 道職員の率先行動

省エネ・新エネの導入促進

全国有数の賦存量を誇る  
再生可能エネルギー資源

- 地域の省エネ・新エネ導入の加速
- 水素関連の産業化促進
- 道有施設・住宅のCO2削減の取組推進

森林吸収源対策の推進

全国の22%を占める  
森林資源を保有

- 森林資源の循環利用を確立



排出量の削減



吸収量の確保

脱炭素モデルの創出・普及

モデル地域掘り起こし (R3)

調査  
分析

- 資源ポテンシャル
- 生活・移動手段の実態
- 障壁となる地域課題
- CO2排出原因分析

可視化

検討

- 分野・業種別の取組検討
- 活用可能な助成・融資制度

庁内推進体制の強化

北海道気候変動対策推進本部にPTを新設

- ・ゼロカーボンに向けた道内の状況分析と課題の可視化
- ・関連する計画、事業の一体的な実施に向けた検討など

モデル構築 (R4~)

取組の実践

協議会

市町村・事業者・金融機関等

全道展開

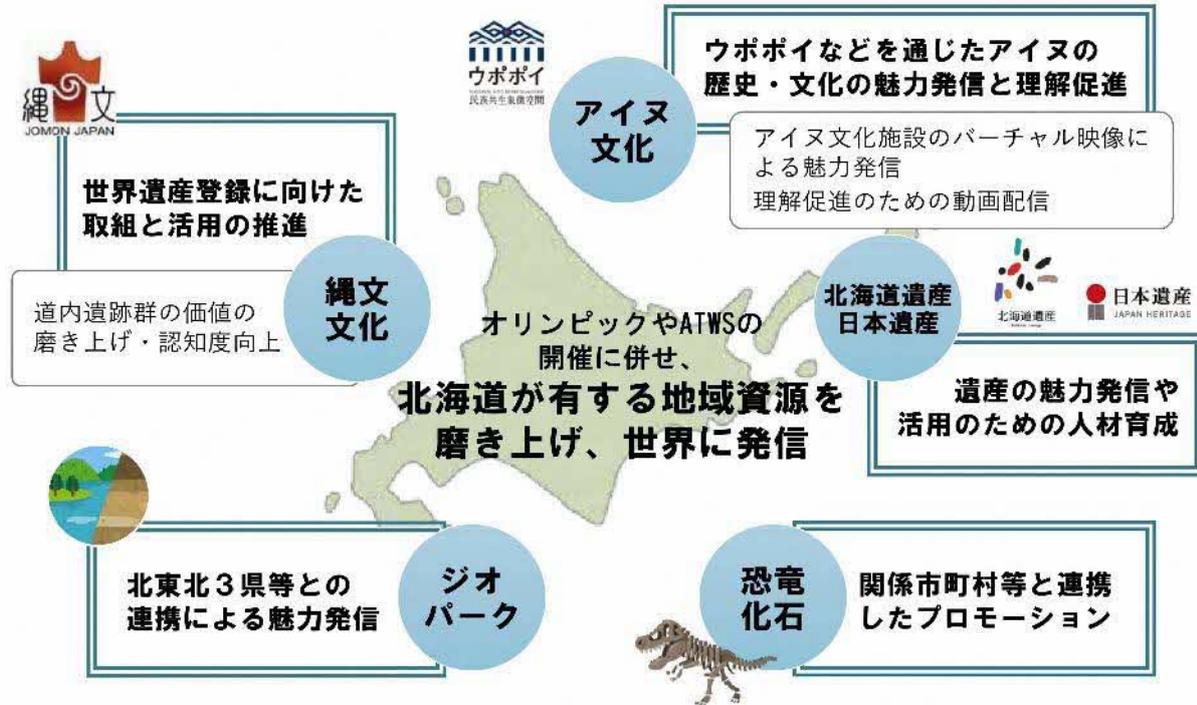
産学官金による支援



〈将来イメージ〉

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-4 アイヌ政策の推進と縄文文化など地域資源の魅力発信



縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組と活用の推進

北東北3県との連携による登録に向けた取組

R3(2021)年5月頃 イコモス による 勧告  
6～7月頃 ユネスコ世界遺産委員会において  
世界遺産登録の可否決定の見通し

- ・ 推薦書審査への対応
- ・ 普及啓発の実施

道内遺跡群の価値の磨き上げ・認知度向上

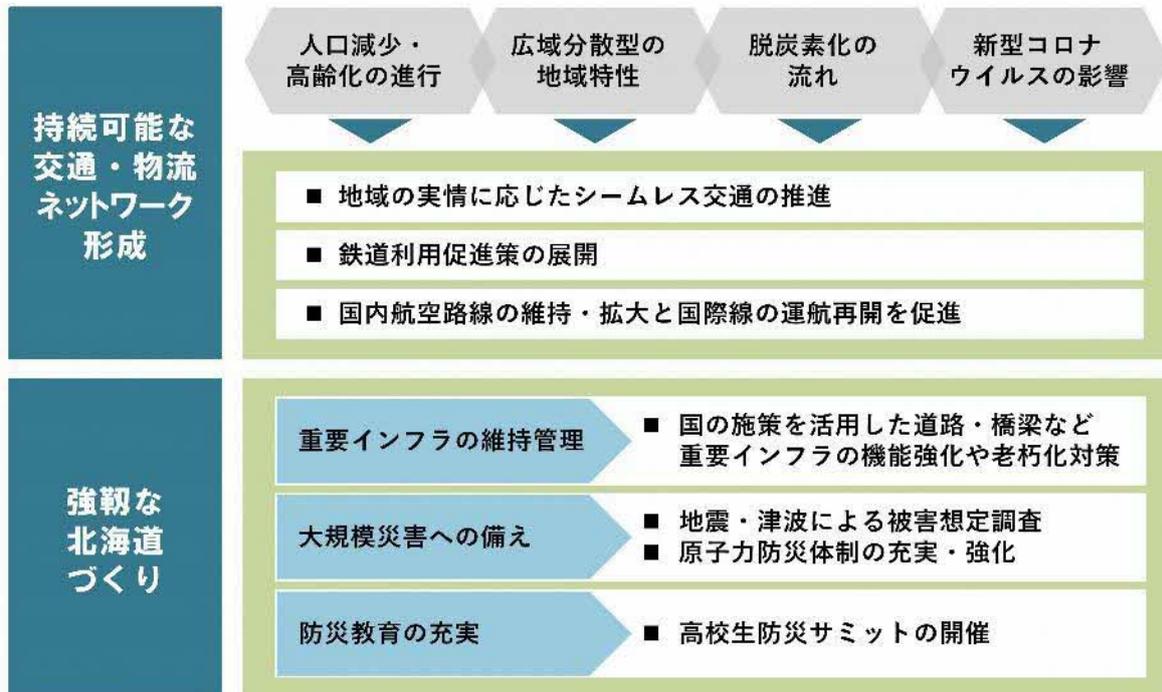
- ・ 共通キャッチフレーズを活用した気運醸成
- ・ 縄文文化に対する道民理解の推進、学校教育と連携した価値の継承
- ・ アドベンチャートラベル・ワールドサミットなどの機会を活かした魅力発信
- ・ 道内統一ガイドの養成など来訪者を受け入れる体制の整備

未来へつづく、  
一万年ストーリー。

新たな「価値」を創造し地域に交流と賑わいを創出

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-5 持続可能な交通・物流ネットワークの形成と強靱な北海道づくり

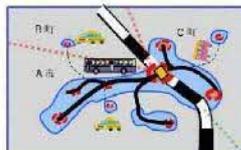


地域の実情に応じたシームレス交通の推進

多様な主体の連携強化による、利便性が高くストレスのない公共交通の実現

広域的「公共交通計画」の策定促進

- 地域間を結ぶ広域交通と生活圏交通の有機的な連携による交通体系の最適化



事業者間の連携体制構築

- 「路線の運用」を事業者間で検討するため、会議体を設置するなど、連携体制の構築・強化を図る
- ダイヤの接続の見直し、共通フリー切符の造成、MaaSの活用など、利便性向上や生産性向上の取組を展開



先進地域での事業展開



先行事例の深化と  
その全道展開

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-6 次代を担う人づくりと誰もが能力を発揮できる社会の実現



医療・福祉人材の確保と業務改善の推進

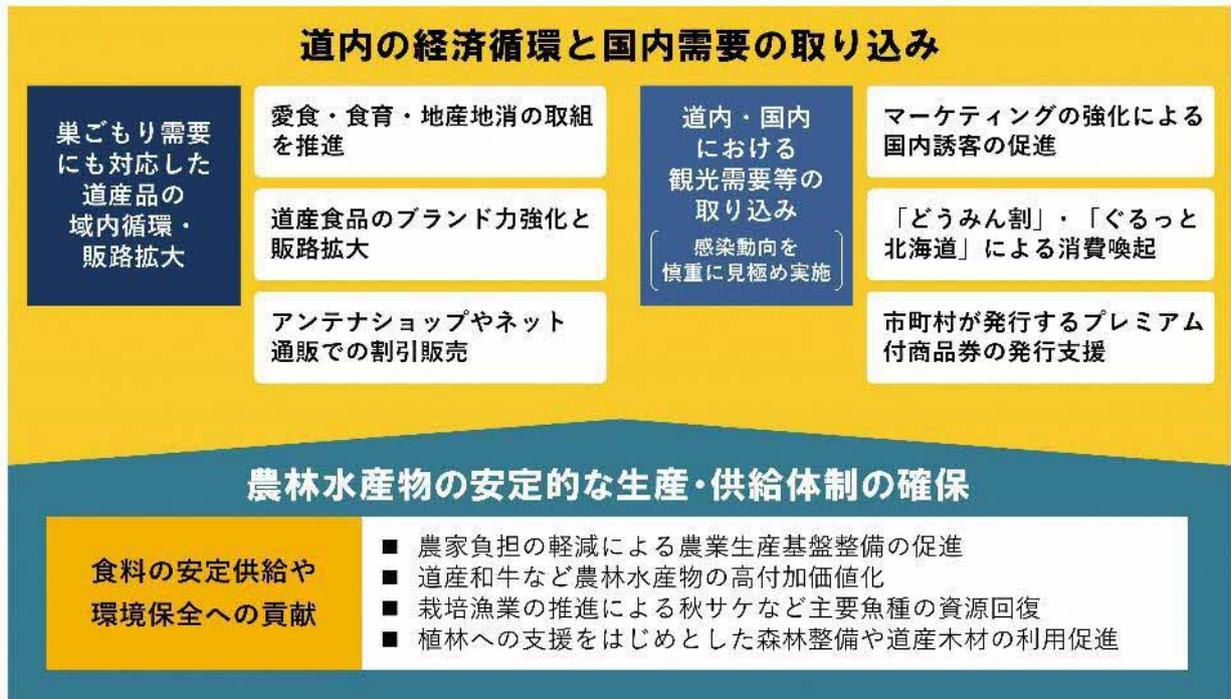
- 全国を上回るペースで進行する人口減少・少子高齢化
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療・福祉ニーズが増大・多様化

人材の安定的な確保の一層の促進に向けた新たな取組

医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤務環境改善の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 勤務医が働きやすい職場づくりに向けたICT等による業務改革の推進</li> </ul>
看護職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規養成者の確保、就業定着</li> <li>・ 地域や不足分野への誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 看護職員養成修学資金の拡充</li> </ul>
介護職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働環境・処遇改善</li> <li>・ 参入促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 働きやすい介護職場の実現に向けた評価制度のモデル的運用</li> </ul>
保育士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業や職場定着の促進</li> <li>・ 職員の資質向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保育士等のキャリアアップによる保育人材確保</li> </ul>

## II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

## II-7 域内循環・国内需要の取り込みと力強い農林水産業の確立



## アンテナショップやネット通販での道産品割引販売

実施期間：R3年5月～R4年2月

## プレミアム付商品券の発行

利用可能店舗	どさんこプラザ（7店舗）・百貨店（37店舗）
対象商品	道産品
プレミアム率	40%（券面額7千円を5千円で販売）

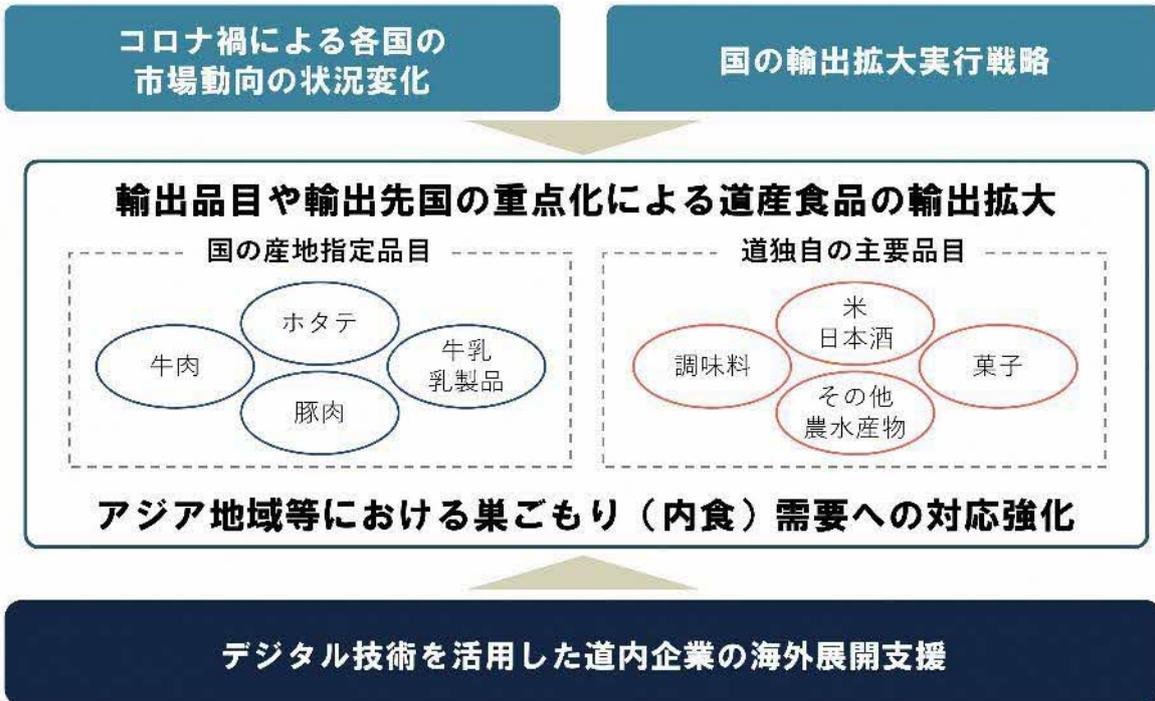
## ネット通販等での割引販売

利用可能サイト	どさんこプラザ・百貨店の通販サイト等
対象商品	道産食品
割引率	30%

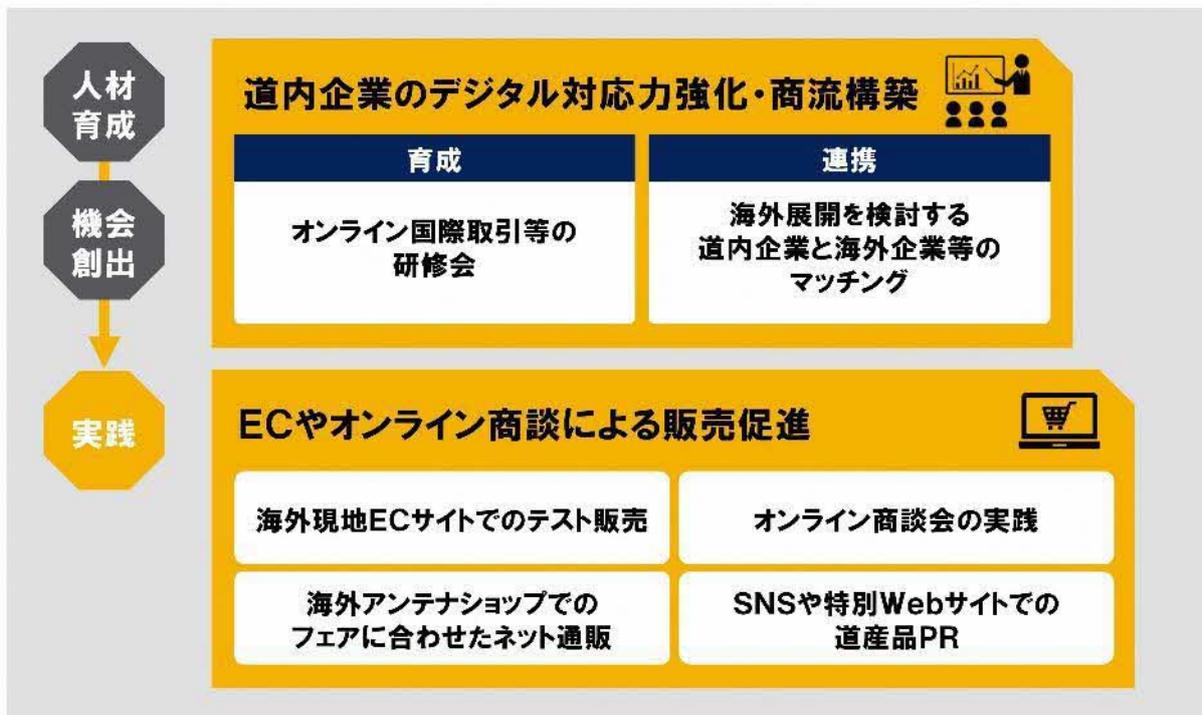
**巣ごもり需要に対応し、道産品の国内販路を開拓・拡大**

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-8 道産食品の輸出拡大など新たな市場への展開



デジタル技術を活用した道内企業の海外展開支援



## II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

## II-9 徹底した感染防止対策による国際大会の受入れとインバウンドの再獲得

## 徹底した感染防止対策による東京2020オリンピック札幌開催の準備

来道者への  
感染予防対策等  
の情報提供選手団等の  
受入体制整備安全で確実な  
競技開催大会開催への  
理解促進

魅力発信

## 取組の成果をレガシーに

感染防止対策の  
ノウハウ蓄積安全・安心な  
北海道のPR多言語化など  
外国人対応の強化

## 海外との往来の本格再開を見据えたインバウンドの再獲得

## 感染状況に応じたプロモーション

北海道エアポートや  
エアラインと連携した  
「HOKKAIDO LOVE!」  
プロモーション

## 観光資源の磨き上げ・受入体制整備

周遊観光の  
利便性の向上アドベンチャー  
トラベルの推進食と観光の  
魅力発信

感染症対策・新北海道スタイルの徹底

## 感染防止対策を徹底したオリンピック競技の開催

聖火  
リレー選手  
受入魅力  
発信競技  
開催

感染防止対策の徹底

## 聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバル

- 公道やセレブレーション会場に応じた感染防止対策の徹底

## ホストタウン等との連携による選手団の受入れ

- 感染防止対策マニュアルの策定
- 選手団や市町村職員等に対するスクリーニング検査の実施
- 関係機関と連携した医療提供体制の構築

## 食・観光・文化など本道の魅力発信

- マスク着用や3密防止など「新北海道スタイル」の実践
- 入場者の検温や手指消毒など、イベント等での感染防止対策の徹底

## 大会組織委員会との連携による安全・安心な競技の開催

- 感染防止対策を徹底し、アスリート・大会関係者等を受入
- 関係機関と連携した医療提供体制の構築

## 2 連携地域別政策展開方針に基づく地域プロジェクトの推進

道では、地域に根ざした政策を推進するため、「連携地域別政策展開方針」に基づき、振興局が中心となって市町村や地域の関係者と連携・協働しながら、51 の地域プロジェクトを展開しています。

### 道央広域連携地域

地域区分	主なプロジェクト	主な施策
空知	そらち「炭鉱(やま)の記憶」の推進プロジェクト	【日本遺産「炭鉄港」広域連携推進事業】 日本遺産「炭鉄港」を活用したまちづくりに向け、民間事業者等との連携による取組を推進し、道内外からの交流人口拡大を図る
	空知の魅力発信プロジェクト	【空知地域エゾシカ肉有効活用需要喚起事業】 エゾシカ肉を空知産ワインや地元食材などを組み合わせ、管内キャンプ場などでモニター提供する等、普及啓発や需要喚起を図る
石狩	都市と自然とが共存する石狩観光スタイルのグローバル展開プロジェクト	【いしかり地域戦略推進プロジェクト】 東京オリンピック札幌開催の機会を捉え、若年層の首都圏への転出超過の改善と、国内外からの人の呼び込み・つながりの創出を集中的に展開する
	若者の地元定着促進と首都圏からの新しい人の流れ創出プロジェクト	【「ポストコロナ」いしかり地域戦略推進プロジェクト】 若年層の定住や、国内外からの人の呼び込みなどの地域の持続的な活性化のための取組について、新型コロナウイルスのもたらす変化を捉え、戦略的に推進する
後志	多彩な地域資源を活用した国際観光リゾートエリア形成プロジェクト	【ShiriBeshi 自然と食を活かしたツーリズム推進事業】 グリーンシーズンのコンテンツ強化のためマウンテンバイクの受入体制づくりや動画を使った情報発信など、ポストコロナを見据えた観光誘客の取組を実施する
	地域を支える力強い農林水産業確立プロジェクト	【ShiriBeshi ニシン利用拡大推進事業】 漁獲が増加傾向にある後志産ニシンについて、加工原材料としての可能性を科学的に検証し、管内水産加工業での利用拡大を図る
胆振	多様な強みを活かし融合する住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト	【いぶり観光・教育旅行誘致促進事業】 「いぶり五大遺産」などの地域資源を活用し、落ち込んだ観光需要、地域経済を回復させるとともに、地域資源を教育素材とする教育旅行の誘致を促進する
		【いぶり・食ブランド推進事業】 胆振の食の魅力向上と消費拡大のため、各種フェアや商談会に参加し、幅広く「胆振の食」を発信する取組を行い、胆振管内の食産業の発展、販路拡大に繋げる
日高	「ひだか」地域を支える農林水産業振興プロジェクト	【ナナイロひだか人材確保事業】 管内7町それぞれの独自色・個性を発揮しつつ、地域が一体的に連携・協力して、管内で様々な分野で活躍する人材を確保する取組を進める
	地域特性を活かした「ひだか」観光展開プロジェクト	【日高山脈襟裳国定公園及びアポイ岳ジオパークの利活用促進事業】 日高山脈襟裳国定公園の国立公園指定の動きに合わせ、ジオツーリズムの推進等により、地域の活性化を図る

## 道南連携地域

地域区分	主なプロジェクト	主な施策
渡島	新幹線開業を活かした 交流人口拡大プロジェクト	【JOMON渡島ネクストステージ事業 2021】 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を見据え、渡島の様々な地域資源を効果的に活用した取組を展開し、地域活性化及び関係人口の創出等につなげる
	未来へ続くたくましい農 林水産業づくりプロジェクト	【「食彩王国南北海道」スパイラルアップ事業】 地域の食の魅力向上に向け、「つなぐ・つくる・かせぐ」をキーワードに、地域内連携の促進や「食彩王国南北海道ブランド」の確立、ポストコロナを見据えた取組を実施する
		【ブリの活用連携促進事業】 渡島管内がブリの一大生産地であることへの認知度を高め、産学官連携により、水産加工業者や飲食店での活用を促進し、地域における消費拡大、魚価の向上を図る
檜山	新幹線開業を活かした 交流人口拡大プロジェクト	【「食と観光ひやまの魅力」向上・創出事業】 食と観光に関する人材育成や魅力発信を行い、管内の知名度向上とイメージアップを図り観光交流人口の増加につなげる
	地域で支え合う安全・安 心なまちづくりプロジェクト	【檜山地域関係人口創出事業】 将来を担う人材の育成を図るほか、各町と連携した広域的な活動により、管内への移住者の増加など関係人口創出につなげる

## 道北連携地域

地域区分	主なプロジェクト	主な施策
上川	魅力ある地域資源を活 かした「きた北海道」への 来訪促進プロジェクト	【かみかわツーリズム誘客促進事業】 マイクロツーリズムの高まりや上川北部の冬季の滞在人口を活かし、モニターツアーやプロモーションを実施し、上川地域への誘客を図る
		【「かみかわ新交流時代」における関係・交流人口拡大事業】 新型コロナウイルスの拡大によるライフスタイルの変容を捉まえ、移住定住対策や関係人口創出、旭川空港を活用した来訪の促進など、地方創生施策を展開する
留萌	るもいの豊かな地域資 源活用プロジェクト	【るもい「食」のバリューアップ事業】 留萌地域の基幹産業である食料品製造業の振興を目的とし、管内の豊かな食資源の磨き上げとPRによる販路拡大や消費拡大を図る取組を推進する
	魅力ある地域資源を活 かした「きた北海道」への 来訪促進プロジェクト	【オロロンラインツーリズム推進事業】 深川・留萌自動車道の全線開通を契機に、深川留萌道が接続する国道231号、232号を活用する事業を管内市町村と連携して展開し、地域経済の持続的発展や活性化を図る
宗谷	魅力ある地域資源を活 かした「きた北海道」への 来訪促進プロジェクト	【てっぺん宗谷 de ポストコロナ観光地づくり推進事業】 アドベンチャーツーリズム型コンテンツの開発やワーケーションの促進など、新たな観光の形を目指す地域や企業を支援し、ポストコロナを意識した観光地づくりを行う
	人と自然が共生する地・ 宗谷創造プロジェクト	【宗谷 New Normal 促進支援事業】 New Normal において求められる情報及び魅力の発信を管内市町村と一体となって取り組み、関係人口の創出や移住者の増加を図る

I 令和3年度の重点政策

オホーツク連携地域

地域区分	主なプロジェクト	主な施策
オホーツク	地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	【地域に根ざすオホーツク愛創生事業】 オホーツク管内の産業や仕事といった地域の魅力を学生等に知ってもらうなど地元愛の醸成や地元定着へ向けた取組を実施する
		【地域連携推進オホーツク活性化事業】 地域の多様な関係者が連携しながら、新たな地域資源を活用した取組やシームレスな交通サービスの実現に向けた取組を進めるとともに、効果的な情報発信を推進する

十勝連携地域

地域区分	主なプロジェクト	主な施策
十勝	「多様な人材の活躍」とかち支援プロジェクト	【多様な人材の活躍による地域づくり事業】 流出傾向にある女性を中心としたワーキンググループを設置し、具体的なまちづくりに向けたニーズ把握や地域資源の掘り起こしなど、魅力創出に向けた取組を実施する
	「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクト	【宇宙産業理解促進事業】 大樹町で進められている宇宙分野の取組について、管内企業などの理解を深め、関わりを拡げていくことで、関連産業の集積など、先進的な産業による地域づくりを進める

釧路・根室連携地域

地域区分	主なプロジェクト	主な施策
釧路	酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクト	【国定公園化を契機とした新たな人の流れ創出事業】 新たな国定公園の指定を契機として、海岸方面への人の流れの創出や、感染リスクを低減する新しい旅のスタイルを提案することで、地域活性化を目指す
	酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクト	【担い手の確保・人材育成等を通じた地域産業の振興事業】 生産年齢人口の減少に伴い、担い手不足が懸念されているため、ニーズ調査や管内事業者のPRを実施し、人材の育成・確保に向けた取組を強化する
	地域の強みを活かした交流人口の拡大プロジェクト	【北海道くしろ地域と東京特別区による関係醸成プロジェクト】 SNS等を効果的に利用した首都圏をターゲットとするプロモーション活動など、くしろ地域の知名度を高める事業を実施する
根室	地域の強みを活かした交流人口の拡大プロジェクト	【新型コロナウイルスを克服するための「ねむろの食と観光」競争力強化事業】 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人々の意識や行動の変化を捉えた観光客の受入体制の整備やプロモーション及びねむろの食材の高度加工の支援を実施する
	環境保全と地域資源の有効利用推進プロジェクト	【根室地域産エゾシカ肉「根室ディア」普及促進事業】 エゾシカの有効活用を進めるため、地域内消費を拡大し、ジビエ等の研究を通じ根室地域産エゾシカ肉の供給を拡大する

### 3 多様な政策手法の活用

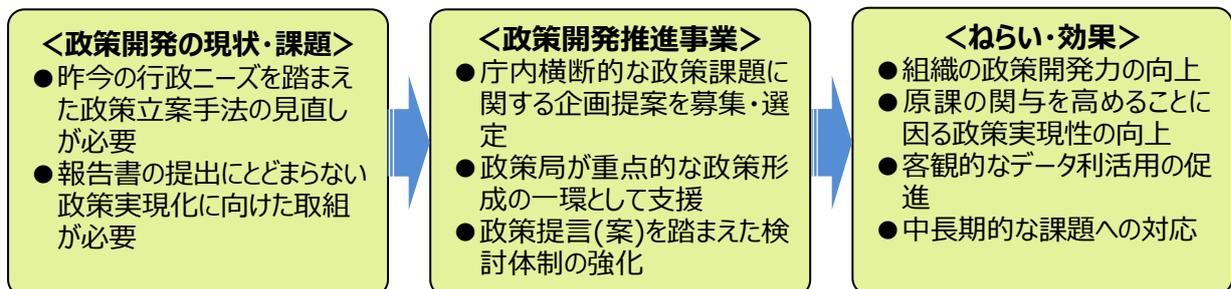
道では、財政健全化に向けて行財政改革の推進を図る一方、直面する緊急課題や多様化する行政ニーズに迅速かつ的確に対応し政策展開を図るため、限られた予算の中で選択と集中を徹底することはもとより、予算事業だけではなく、様々な政策手法を活用していくこととしています。

このため、国の施策の活用に加え、政策開発推進事業をはじめとする創意工夫をこらした政策展開や、民間企業等との協働事業の充実など多様な主体との連携・協力に取り組みます。

#### (1) 「政策開発推進事業」の活用

多様化・複雑化する行政課題への対応と道全体の政策開発能力の向上を図るため、職員から庁内横断的な政策課題に関する企画提案を募集・選定し、磨き上げ、職員の柔軟な発想や行動力を活かした実効性ある政策開発を推進します。

(平成29年度:2件、平成30年度:3件、令和元年度:1件、令和2年度:1件)



#### (2) 官民連携の推進

北海道を応援したいという企業や団体、個人の方々のネットワークである「ほっかいどう応援団会議」等を活用しながら、包括連携協定・タイアップ事業といった協働活動やふるさと納税をはじめとする資金面での協力など、幅広い手法による官民連携の取組を推進します。

##### ア ほっかいどう応援団会議

民間の知恵や力を最大限に活用しながら、官民連携により道内の地域課題の解決を図ることを目的に、北海道を愛する企業や団体、個人の方々が交流するネットワークとして、令和元年9月に「ほっかいどう応援団会議」を立ち上げました。

(令和3年3月末現在の企業・団体登録数は464、個人登録は延べ6,451人)

知事・市町村長が道内外の企業等に対し、地域の魅力や応援を求める取組を直接PRする場として「ほっかいどう応援セミナー」を開催するほか、道・市町村が応援を求める取組や企業等の応援実績などを、令和元年9月開設の「ほっかいどう応援団会議ポータルサイト」を通じて一元的に発信することで、幅広い支援の獲得に繋がります。

（「ほっかいどう応援セミナー」令和2年度開催実績…札幌：令和2年10月26日、オンライン：令和3年3月26日）

## イ 民間企業等との協働

### （ア）包括連携協定の締結による協働事業

民間企業等からの提案に基づき、複数の政策分野にわたって道と包括的かつ継続的に協力関係を構築し、連携・協力に関する協定を締結した上で、具体的な事業を協働で実施します。

（令和3年3月末現在の包括連携協定締結数は81件、企業等数は104社）

### （イ）タイアップ事業

民間企業等が有する資源（アイデア、ノウハウ、資金等）と道が持つ情報やネットワーク、人的資源を結びつけることで、道内地域や経済の活性化、公共サービスの充実や道が進める施策の効率的な展開を図ります。

## ウ 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

北海道に想いやゆかりのある企業が寄附を通じて地域の再生をサポートする地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用して、北海道創生総合戦略に掲げる取組を推進するとともに、制度周知や事例紹介などを行い、道内市町村による民間資金の積極的な活用を図ります。

## エ ふるさと北海道応援寄附金（ふるさと納税）

自分の生まれ故郷や愛着のある地域を応援したいという気持ちを寄附という形で表す「ふるさと納税制度」を活用し、地域課題の解決や地域経済の活性化が図られるよう取り組むとともに、北海道の魅力や寄附の使途などを積極的にPRすることで、寄附者の共感が得られるよう取り組みます。